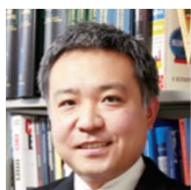
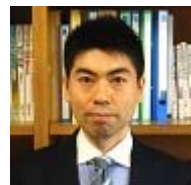


担当教員

会計



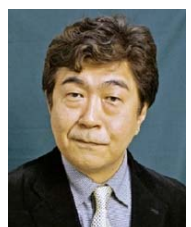
石川 祐二



高野 学



森田 佳宏



内山 峰男

マーケティング ・流通



姉齒 暁



大野 哲明



中西 大輔



番場 博之

貿易・金融



齊藤 正



小西 宏美



深見 泰孝



吉田 真広

経営・情報



岩波 文孝



長山 宗広



堀 龍二



松田 健



松本 典子



吉田 健太郎



中濟 光昭

租税法（税理士）



北口 りえ



柳 裕治



世界で通用するスペシャリスト養成を目指して

商学研究科委員長：中津 光昭

商学研究科は、流通・情報・経営・会計・租税・金融の各分野の優れた教授陣による充実したカリキュラム、整った施設、積極的な留学生受け入れなど、絶えず改革を続け、発展著しいアジアで活躍する高度専門職業人の育成を目指します。そのため、税理士など税務のスペシャリストやITコンサルタントになるための指導を行っています。税理士養成では本学経済学部と共催する寄付講座として税理士によるゲスト講義を行っています。

税理士等の会計プロフェッショナルの育成では、本研究科で租税法または会計学に関する修士論文を作成し、修士学位を取得した際には、税理士試験の一部科目の免除申請を行うことができ、これまでも多数の科目免除者を輩出しています。ERPシステムの会計実習など税理士の仕事に直結する実践的な授業も開講します。留学生には、研究と社会で求められる資格取得の両方を行います。富士通、NTTデータ、アクセンチュアなどの大手IT企業で活躍する留学生がおります。

本研究科入学生には、本研究科のこうした特徴を最大限に活用し、学部では会得することのできなかった知見をもとに、将来、高度専門職業人として、また研究・教育者として大いに活躍していただけるよう最大限の指導・支援を行っていきたくと考えています。

研究科の特徴・目的

履修科目の一例

日本での就職を希望する留学生やスキルを身につけたい日本人学生向けの履修科目例です。

科目名	単位
貿易論特講a,b	各2
マーケティング論特講a,b	各2
中国ビジネス論特講a,b	各2
国際金融論特講a,b	各2
ERPシステム実践研究a,b	各2
国際会計論特講a,b	各2
経営管理論特講a,b	各2
現代企業論特講a,b	各2
経営戦略論特講a,b	各2
論文技術指導a,b	各2

修了のために必要な単位数は、修士論文を選択した場合は30単位、課題研究を選択した場合は36単位です。修士論文(40,000字以上)または課題研究(20,000字以上)のどちらを選択しても、修了要件を満たせば修士の学位が授与されます。

特徴

本研究科の特徴は、商学分野に関連する知見を包括的に修得できるところにあります。

研究指導に関しては、希望に応じて「複数指導制」ととることが可能となっています。主となる研究分野を担当する「指導教員」の演習の他に、研究に広がりを持たせられる分野を担当する「副指導教員」の演習を受講でき、綿密な指導を受けることができます。

これらにより、自らの研究を複眼的に捉えて進めることができ、広く、深く、分析を行うことができるようになります。

とくに留学生に対しては、指導教員と副指導教員が連携して、商学の基礎を幅広く教授します。さらに日本語で研究をするためのライティングを中心に、テーマに関する日本語の語彙、文法など論文執筆に必要な準備教育を行います。

目的

流通・マーケティング、金融・貿易、経営・情報、会計、租税法などに関する学術研究能力および高度専門職業に必要なプロフェッショナルな能力を有する人材の養成を目的とします。

研究科について

商学研究科は中国を中心として多くの留学生を受け入れています。「日本語能力試験」のN1合格者や「日本留学試験」の基準点以上の得点者は筆記試験が免除されます。また、演習・講義とも少人数で、きめ細かい研究指導が行われています。履修モデルとして、グローバルキャリアコース、キャリア支援コース、会計士・税理士コース、研究者養成コースがあります。コースをまたいで授業を履修することも可能です。

研究テーマの例

「女性の活躍」推進に向けた雇用の現状と課題

－「働き方」・「働かせ方」改革とワーク・ライフ・バランス－

公正価値会計に関する一考察

－中国と日本の比較を中心として－

データベース・マーケティングによる顧客ロイヤルティの向上

－CRMに関する取り組みと顧客行動の予測についての考察－

台湾における日系百貨店の販売促進戦略

－新光三越のポイントカードの事例を中心に－

中国における日本化粧品企業の販売戦略に関する一考察

－資生堂とコーセーの事例を中心に－

コンテンツツーリズムと地域活性化

－アントレプレナーシップの視点から－

ERPによるコスト・マネジメント

－日本企業のグローバル調達コストの課題を中心として－

連続的組織変革における組織文化の影響

中国におけるアパレル企業のブランド成立条件に関する一考察

中国における影の銀行

－その伝統的商業銀行制度に及ぼす影響－

高等学校商業教育の今日的役割と普通科における商業教育の導入に関する一考察

租税法律不遡及の原則に関する一考察

－譲渡所得課税における損益通算の事例を中心として－

修了生から一言

陳 雅彬

私は商学研究科で、ERPという様々な業務を処理するシステムの研究をしました。ERPが処理する金融や流通等についていろいろな先生に学ぶことができました。ゼミでは、先生や仲間と深い議論ができます。日本の会社や台湾の大学と一緒に学ぶことは、とてもためになり、充実した学生生活を送りました。そして、日本を代表する大手ITメーカーに就職できました。日本で就職したい留学生にとっては、理想的な環境だと思います。

主な進路

中国人留学生の主な就職先は以下の通りです。日本の優良企業に就職し、日中の架け橋ともいえるべき人材として活躍しています。

- Pricewaterhouse Coopers Hong Kong
- ラオックス
- 三菱電機情報ネットワーク
- NTTデータグローバルソリューションズ
- HIS
- 日通
- 中国建設銀行
- 信義房屋不動産
- 富士通
- アクセンチュア